



全国安全週間始まる

七月一日から恒例の安全週間が始まります。六月は準備月間ということで各団体の安全関連行事が開催されました。今年も安全標語に入選しましたので紹介します。

1. 岩手県採石工業組合 入選

『頼り 頼られ 思いやり
絆で繋がる職場の和』

フクタ砕石部 畠山 初男

2. 岩手労働基準協会二戸支部 入選

『ちよつと待て
見えない死角に人がいる』

フクタ石材部 工藤 吉昭

3. いわて県北地域労働安全衛生推進協議会

『研ぎすまそう
危険を見る目 感じる目』

フクタ砕石部 三上 弘志

4. いわて県北地域労働安全衛生推進協議会 優秀賞

『あいさつ、合図
みんなで声掛け安全確認』

福田運送 工藤 恵美子

また六月一日には、安全運転管理
者選任事業所表彰いただきました。

これからも安全第一を心掛けて
まいります。
ありがとうございました。



安代小学校

～子供の目～

今年も安代小学校3学年の皆さんが工場見学にいらっしやいました。発破作業と油圧ショベル、ホイールローダー、ダンプトラックを見て頂きました。発破の瞬間を見た子供達は皆目を丸くして大きな歓声を上げていました。足元に落ちている石を取り上げ『これを輝石安山岩と言います。』と説明すると、みんな『キセキアンザンガン、キセキアンザンガン♪』と言いながら大事そうに拾い集めていました。石ころが宝石に変わる瞬間でした。

数日後、子供達から手紙が届きました。それぞれに素直な記憶がしたためられていました。子供の目線で発見したことは私達にも教訓となることです。来年もまた来て、色んなこと教えてください。



生徒さんが描いてくれました。この歓声が聞こえてくるようです。



新入社員

6月から石材部に浅内崇さん(32歳)が入社しました。石を扱うのは初めてですが、毎日先輩の背中を見ながら修行中です。『石の上にも3年』慌てず、諦めず、頑張ってください。



～クリーンエネルギーへの転換～

7月から再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まる。ご近所でも2軒ソーラーパネルを設置し、発電、売電しているお宅がある。制度の内容をよく見もせず自然エネルギー発電が促進されることは大いにいいことだ。と思ったら買い取る元手として使用者に¥0.22/kWhの賦課金が課せられることを後で知った。電力会社は決して損をしない仕掛けになっているのだ。たかが22銭だが年間すると20万円位になる。砕石は人件費と部品修繕費を除くと、火薬、燃料、電力とエネルギーの固まりになってしまう。



再生可能エネルギーに転換していくためには、痛みを伴うものと覚悟せざるを得ない。

おやつ解禁

当社の6月は健康診断の月である。年を経るごとに体重、胴回りがメタボの領域に近づきつつある。そこで、砕石事務所の2名はおやつは食べない、昼食は八分目にする。付け焼刃で腹筋をする・・・などなど当日まで空腹に耐えさやかな抵抗を試みるのである。

しかし、前日にはあるがままの姿を検診してもらうのがよろしいのだと開き直って悟ったふりをする。バリウム排出の為の下剤を飲んで無事に排便が済む頃になると、空腹感と共に甘い物が欲しくなる。おやつを食べた後に言い訳を考える。おやつは緊張を解きほぐし、空腹を満たし、場を和ませ人々を幸福にする。よって社会に平和と安定をもたらすのだ、おやつ万歳!

編集後記 やつと暑くなりはじめ水分ばかり取っています。成人が1日あたり必要とする水分量は、体重1kgあたり50mlだそうで・・・
体重×50ml-1.2ℓ(食事から取れる水分)=口からの摂取量なんだそうです。では、お客様は？私？？？・・・内緒です(笑)